

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2016年3月13日聖日礼拝

---

受難節の思い巡らし

「悲しみの道」

ルカの福音書 23章24節-34節

竿代照夫牧師

# 聖書朗読 新約聖書

## ルカの福音書 23章24節～34節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会)を使用しています

第二版の聖書は 152 ページ

第三版の聖書は 167 ページ

- 24 ピラトは、彼らの要求どおりにすることを宣告した。
- 25 すなわち、暴動と人殺しのかどで牢に入っていた男を願いどおりに釈放し、イエスを彼らに引き渡して好きなようにさせた。
- 26 彼らは、イエスを引いて行く途中、いなかから出て来たシモンというクレネ人をつかまえ、この人に十字架を負わせてイエスのうしろから運ばせた。

27 大ぜいの民衆やイエスのことを嘆き悲しむ女たちの群れが、イエスのあとについて行った。

28 しかしイエスは、女たちのほうに向いて、こう言われた。「エルサレムの娘たち。わたしのことで泣いてはいけない。むしろ自分自身と、自分の子どもたちのことのために泣きなさい。

29 なぜなら人々が、『不妊の女、子を産んだことのない胎、飲ませたことのない乳房は、幸いだ』と言う日が来るのですから。

- 30 そのとき、人々は山に向かって、『われわれの上に倒れかかってくれ』と言  
い、丘に向かって、『われわれをお  
おってくれ』と言いだします。
- 31 彼らが生木にこのようなことをするの  
なら、枯れ木には、いったい、何が起  
こるでしょう。」
- 32 ほかにもふたりの犯罪人が、イエスと  
ともに死刑にされるために、引かれて  
行った。

33 「どくろ」と呼ばれている所に来ると、  
そこで彼らは、イエスと犯罪人とを十字架につけた。犯罪人のひとりには右に、  
ひとりには左に。

34 そのとき、イエスはこう言われた。

「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」彼らは、くじを引いて、  
イエスの着物を分けた。

# 説教

受難節の思い巡らし

「悲しみの道」

ルカの福音書

23章24節-34節

竿代照夫牧師

## 主テキスト

「わたしのことで泣いてはいけない。  
むしろ自分自身と、自分の子どもたち  
のこのために泣きなさい。」  
(ルカ 23 : 28)



# 1. ヴィア・ドロロサとは

- ・ことば

悲しみ(ドロロサ)+道(ヴィア)

- ・特定的に

裁判の場からゴルゴダまでの道  
(地図、写真、参照)

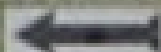
- ・15ステーションから成る  
「巡礼コース」



דִּיאַה דוֹלוֹרוֹזָה

طريق الآلام

VIA DOLOROSA





## 2. 倒れなされた主

- ・受刑者が担ぐ十字架：飛びきり重い！
- ・主イエスの場合：疲労困憊の極み

## 3. クレネのシモンに助けられる

- ・ローマ兵が「行役義務」を課す
- ・クレネ人シモンの頂いた恵み
- ・「十字架」を担ぐ恵み

#### 4．女性たちが主を同情する

- ・女性たちの群れ  
ガリラヤから着いてきた女性たち
- ・勇気ある同情と助け  
エルサレム女性の感動
- ・S兄のお母さん  
投獄中のアイルランド人宣教師を助ける

#### 5．主が女性たちを同情する

- ・自分のことではなく、他を顧みる主イエス
- ・エルサレム滅亡の予告

6. 私たちはどんな立場で主の傍らを歩くだらうか？

・シモンのように

代わって十字架を担ぐ側か？

・女性たちのように

同情する側か？

・祭司長たちのように

あざける者の側か？

・強盗達のように

一緒に十字架を担がされる側か？

・ローマ兵のように

鞭を打ち、釘を打ち付ける側か？

# 「みやこのそとの」(後藤光三作詞作曲)

都の外の遠い道 カルバリ丘にイエス様は  
十字架を背負い、行かれます。

イエス様ほんとに重いでしょう  
十字架の上のお苦しみ、私たちの罪と咎  
その御肩にかかっている。

イエス様ほんとにすみません  
十字架の上でイエス様は

みんなのために祈られた  
イエス様どうぞ罪深い  
私を赦して下さいな